

20th J-WAVE
LIVE! TOGETHER

&
roppongi hills
5TH ANNIVERSARY



開催期間：2008年5月2日(金)～5月5日(祝・月) 計4日間
主 催：六本木ヒルズ J-WAVE 81.3FM
会 場：六本木ヒルズアリーナ
協 賛：サッポロビール 他
入 場 料：無料
同時開催：J-WAVEフリーマーケット(5月2日、3日)
※荒天時はプログラム変更および中止になる場合がございます。
●地下鉄
○東京メトロ日比谷線「六本木駅」よりアリーナまで徒歩約5分
○都営大江戸線「六本木駅」よりアリーナまで徒歩約10分
○都営大江戸線「麻布十番駅」よりアリーナまで徒歩約5分
●車
○首都高速飯倉ランプ、西ヶ崎ランプから10分 駐車場／2,762台完備
●お問い合わせ：六本木ヒルズ総合インフォメーション
TEL:03-6406-6000 HP:<http://www.tokyomaps.jp>

J-WAVE & Roppongi Hills present

TOKYO M.A.P.S

KAZUFUMI MIYAZAWA EDITION

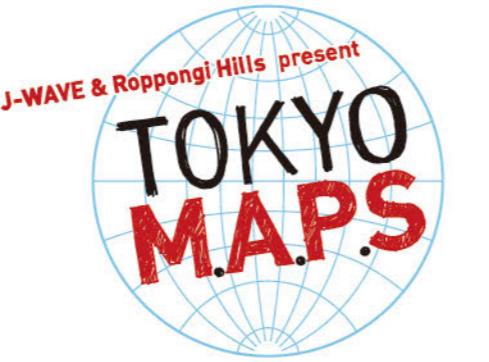
2008.5.2-5.5
@ Roppongi Hills Arena

TOKYO M.A.P.Sとは…

六本木ヒルズ開業5周年とJ-WAVE開局20周年を記念して開催されるコラボレーション企画です。開催毎に世界を舞台に活躍するアーティストを、プログラム・オーガナイザーに迎え、様々な表現を毎年ゴールデンウィークに発信していきます。

CONCEPT

その地図には道も場所も記されていません。
しかも一枚ではありません。紙ですらありません。
その地図はMusic. Art. Performance.の地図です。
そのM.A.Pが複数(S)集まり、Showcaseの中で
SpecialなStreamとなってSessionするSeries.
それがTOKYO M.A.P.Sです。
「手に入れろ!『感動』の地図を!」



KAZUFUMI MIYAZAWA EDITION



今この場所で描こう! ONGAKUは未来のイマジネーション。

音楽は額縁に収めて一日中鑑賞できるものではありません。
音楽を手のひらに収めて一日中愛でることはできません。

一分間に数百の音符が五線紙を駆け抜け、
数分で一曲の音楽は終わり、「無」に戻ります。
見ることも触れることもできないもの....それが音楽。

しかし、実際に目の前でパフォーマンスされた音楽は
人々の心に火をつけ、腰を踊らせ、興奮と歓喜を呼び起こす....。
時には苛立った心の火を消し、安らぎを与え、静寂に誘うもの.....。

見ることも触れることもできないけれどその時、音楽は人々の「体験」「記憶」の中に色濃く焼き付けられ、その心の中で永遠を勝ち取るのです。

海外の町で活動する時、よくこう尋ねられます。
「おまえの町ではどんな音楽が鳴っているのだ?」
以前の自分にはその答えが見つけられませんでした。
「世界に胸をはれる音楽が果たしてここにあるのだろうか?」
そう自問し続けていました。でも、今は違います。

ここTOKYOは巨大な交差点のようで、
色とりどりの文化、人種、歴史、ファッションやジョークが
飛び交い、世界で例を見ないほどの独特な音を発信し、
毎日、巨大な都市に共振させています。

2008年の5月の4日間、TOKYO ROPPONGIに
パッケージされた商品ではない、本物の音楽を共振させます。
皆さんの心の中をも響かせ、永遠を勝ち取ることを願って.....

宮沢和史

宮沢和史は、5/4(日)、5(月)に出演。

宮沢和史 Profile

1966年 甲府生まれ。THE BOOMのボーカリストとして1989年にデビュー。これまでにTHE BOOMとしてアルバムを11枚、宮沢和史ソロでアルバムを5枚リリースしており、現在は新たなバンド=GANGA ZUMBA(ガング・ズンバ)としても精力的に活動中。4月9日には初のシングル「シェゴウ・アレグリア!~歡喜のサンバ~」をリリース。また作家としても矢野晴子、小泉今日子、夏川りみ、MISIA、SMAP、岡田准一(V6)、中島美嘉など多くのミュージシャンに歌詞、曲を提供している。海外でのレコーディングやコンサートツアーや積極的に行い、特にブラジルへの思い入れは強い。代表曲のひとつである『島唄』は、アルゼンチンでの大ヒット(2002年)後も各国のミュージシャンに次々にカバーされ、国境を越え、世界に広がり続けている。日本人ブラジル移民100周年の今年、GANGA ZUMBAとしてのブラジルツアーリリースを予定している。

5.2 (FRI)



アナム&マキ

河島亜奈穂と本多真季のアグレッシブ・アコースティック・ギターバンド。ライブは2人だけの以外にも、バンド、またはペーシストやバックショニストとの3人で、フレキシブルにリード。世界に通用する日本のアーティストとして活躍。05年には、ラ・ボヌーの伝統承者の称号を授かる。アロハトビーズの伝導師として幅広く活動を続いている。



Sandii (サンディー)

河島亜奈穂と本多真季のアグレッシブ・アコースティック・ギターバンド。ライブは2人だけの以外にも、バンド、またはペーシストやバックショニストとの3人で、フレキシブルにリード。世界に通用する日本のアーティストとして活躍。05年には、ラ・ボヌーの伝統承者の称号を授かる。アロハトビーズの伝導師として幅広く活動を続いている。

5.3 (SAT)



バルンサ

日本を代表するサンバ・グループ。「メロディーとリズムの宝庫」のサンバは、単に「サンバ=カーニバル」に收まらない魅力にあふれている。そんなバランスではあります。しかし世界では知られていないサンバワールドをリアルに表現し、さらにそこから何かを生み出していくのが「バルンサのサンバ」である。



GO!GO!7188

オリジナリティ溢れる楽曲と高い演奏能力を武器にライブパフォーマンスから日本式歌謡ワンマンまで、ライブを中心とした活動を展開。本格派ロックバンドとしての評価を高める。07年には度に渡るUSツアーを敢行。5月28日にはシングル「片思いハイター」、カバーアルバム「虎の牙2」を同時リリース。5月からは初の2マンTour<徹子のHairs>を全国各地にて開催。

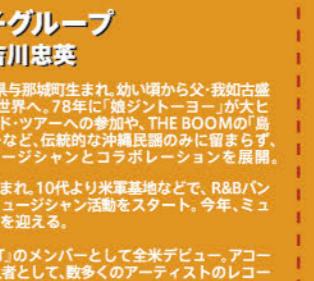
5.4 (SUN)



GUEST VOCAL'S



新垣勉



宮良忍



GANGAZUMBA

宮沢和史をボーカルに、高野寛、マルコス・スザーノなど、国籍も言語も音楽的バックグラウンドも異なる個性派ミュージシャンたち10人によるバンド。海外でも積極的に活動を行ない、05年はヨーロッパと中南米10カ国をツア。さまざまな要素がミックスチャーリーされたオリジナルの音楽、グルーヴは各國で高い評価を得ている。

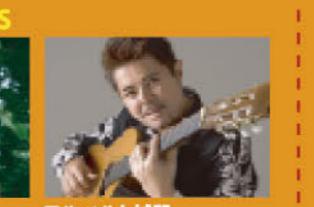
5.5 (MON)



アフロキューバミーゴス!



NORA



アルベルト城間



ROCKAMENICO

フラメンコの世界で生きるKSK Ariza(Vo)とメジャーシーンで活躍するichiro(Gt)のジャルを超えた出会いにより結成された7人編成のバンド。ロックとフラメンコだけなくラテン音楽も軸にしたワールドワイドな楽曲を日本語で歌い上げる、独自の世界が魅力。07年SONIC GROOVEよりメジャーデビュー。1st Album「PASION」発売中。

	5.2 FRI	5.3 SAT	5.4 SUN	5.5 MON
10:00				
11:00				
12:00				
13:00	J-WAVE フリーマーケット	J-WAVE フリーマーケット	我如古より子グループ 12:30~13:30	アフロキューバミーゴス! 13:00~13:50
14:00			我如古より子グループ 14:00~15:00	
15:00				ROCKAMENICO 15:00~15:40
16:00				
17:00	アナム&マキ 17:00~17:30	バルンサ 17:00~17:40		
18:00	Micro 18:00~18:30			
19:00	Sandii 19:00~19:50	GO!GO!7188 19:00~19:40	GANGAZUMBA 19:00~19:50	アフロキューバミーゴス! 19:00~19:50
20:00				



※出演者は、追加および変更になる場合がございます。※荒天時はプログラム変更および中止になる場合がございます。